

秋田県トラック運送事業協同組合

(理事長 齊藤 正敏 氏)

○50年を振り返って

当組合は、昭和38年に秋田県小型トラック運送事業協同組合としてスタートしました。設立当時の事業は、資材の共同購買事業と金融事業でしたが、その後保険代理店業務や共同受注・共同配車等の事業を拡大し、昭和47年に秋田県トラック運送事業協同組合(通称：秋ト協)に名称変更、昭和51年には保管倉庫を建設して共同保管事業を開始、平成6年には設立30周年に合わせて念願だった組合会館を建て直しました。共同事業では、平成17年から始まった秋田中央地下道(以下、中央道)のRCセグメント輸送、平成22年には太平療育園と八橋小児医療センターの引越業務も受注できました。引越の時は、組合員が率先して作業に従事し、組合の事業として各々一丸となって地域社会に貢献できたことが自信となっております。



【齊藤理事長】

○今後の抱負

理事長に就任して15年目を迎えますが、これからも当組合の基本理念である「和」を大切に、組合員のためになる組合運営をしていきます。また、当組合は官公需適格組合証明を取得しているのので、他県の事例を参考にしながら、更なる受注に結びつくよう取り組んでいきます。

○2013年は組合にとってどんな年になりますか

厳しい状況が続いておりますが、今年の干支である「へび」のように、脱皮しながら成長していく年にしたいと考えております。



【組合会館】

【組合の概要】 所在地：〒010-0061 秋田市卸町一丁目3-2
電話：018-823-8192 FAX：018-863-1879
設立：昭和38年11月 組合員数：5人

秋田県豆腐油揚商工組合

(理事長 矢吹 達夫氏)

○50年を振り返って

当組合は、県内の豆腐製造業者が、戦後の物資が不足している時代に原材料の大豆を共同購買するために設立しました。豆腐屋が業界団体として、2～3年に一度の「価格改定」を認めてもらえた時代がしばらく続きましたが、30年位前からナショナルスーパーが県内各地に出店し、食品売場のキャパを争って組合員同士がライバルとなり、設備投資と価格競争によって資金繰りに苦しむ豆腐屋が増えています。そういった状況の中、当組合では、平成15年に12月12日を「豆腐の日」と定め、県産大豆の「りゅうほう」を原料にした豆腐を販売開始するなど、地産地消や豆腐の消費拡大を呼びかけてきました。また、「あきた食品振興プラザ」を通じて、県内の高校生に地元の食材をふんだんに使った給食を提供したいという働きかけを行っています。



【矢吹理事長】

○今後の抱負

これからはスーパーに納品するだけでなく、一品に特化して店頭販売や移動販売に挑戦したり、豆腐を加工した商品を開発するなど、創意と工夫を持って秋田県の豆腐の消費拡大に努めていきます。

○2013年は組合にとってどんな年になりますか

組合員がしっかりと経営理念を軸に、自分の商品に確かな価値を付けて、新たな展開に取り組む再スタートの年にしたいと考えております。



【組合会館】

【組合の概要】 所在地：〒010-0013 秋田市南通築地7-16
電話/FAX：018-832-6769
設立：昭和38年12月 組合員数：29人